

麻しん（はしか）患者の発生について（平成31年1月22日）

1月19日（土）名古屋市昭和区の医療機関、1月21日（月）名古屋市南区の医療機関から、名古屋市保健所に情報提供があり、名古屋市衛生研究所が遺伝子検査を実施し、麻しん陽性であることが判明しました。

その後、本市が患者の疫学調査を実施し、下記の内容を把握しました。

名古屋市保健所等は、健康観察等を実施するとともに、市民のみなさまへの周知・啓発に努めていきます。

本市における麻しん（はしか）の発生状況等は、新しい患者等が確認された都度、患者の行動等に応じて本市公式ウェブサイト又は市政記者クラブへの資料提供により情報を提供していく予定ですので、よろしくお願い致します。

1 患者Aについて

(1) 概要

20歳代 男性 瑞穂区在住 営業職 ワクチン接種歴 なし

平成31年1月11日（金）に本市が公表した麻しん患者（20歳代、男性、大学生）の家族

(2) 行動等

- 1月17日（木） 7時30分頃、地下鉄桜通線（徳重方面）、地下鉄名城線（右回り）を利用し通勤し、日進市内の会社を複数訪問（社用車利用）
21時頃、地下鉄名城線（左回り）を利用し、自家用車で帰宅
- 1月18日（金） 7時30分頃、地下鉄桜通線（徳重方面）、地下鉄名城線（右回り）を利用し出勤、豊明市内の会社を複数訪問（社用車利用）
20時頃、地下鉄名城線（左回り）を利用し、自家用車で帰宅
夕方、発熱症状出現。
- 1月19日（土） 11時頃、医療機関A（昭和区）受診（移動は自家用車（隔離されて受診）、自宅静養
- 1月20日（日） 自宅静養
- 1月21日（月） 名古屋市衛生研究所による遺伝子検査の結果、麻しん陽性と判定

2 患者Bについて

(1) 概要

10歳 女児 市内在住 小学生 ワクチン接種歴 なし

(2) 行動等

12月22日(土) フィリピンへ渡航
～1月12日(土)

1月15日(火) 小学校へ登校。夜、発熱症状出現。
1月16日(水) 自宅静養。19時頃、医療機関A(南区)受診(移動はタクシー)。
1月17日(木) 自宅静養
1月18日(金) 自宅静養
1月19日(土) 自宅静養
1月20日(日) 発疹出現。22時頃、医療機関A(南区)受診(移動はタクシー)
1月21日(月) 午前中、医療機関B(南区)受診(移動は行きは市バス、帰りはタクシー)、自宅静養
名古屋市衛生研究所による遺伝子検査の結果、麻しん陽性と判定

3 麻しん(はしか)について

- ・今後、さらに麻しん(はしか)が広がる可能性があるため、麻しん(はしか)を疑う高熱と発疹の症状が現れた場合は、事前に医療機関に連絡し、麻しん(はしか)を疑う旨を伝えた上、医療機関の指示に従い早急に受診していただくことが大切です。また、受診の際は、周囲に感染を拡げないよう公共交通機関の利用は避ける必要があります。
- ・1歳(第1期)と小学校入学前年度(第2期)に、MRワクチンの定期予防接種を忘れずに実施することが肝要です。また、妊娠している方は麻しん(はしか)ワクチンの予防接種ができませんので、ご注意ください。

4 参考

今回の麻しん患者の発生で、平成31年の報告数は本市内では4例目(愛知県内では9例目)になります。